

平成29年度みどり活用に関するアンケート結果

1 アンケート概要

(1) 目的

本市の魅力の1つである「みどり」の環境の活用・保全に関する取組に対する市民の満足度や意見を把握するため。

(2) 対象

モニター 105名

(3) 回収数

68件

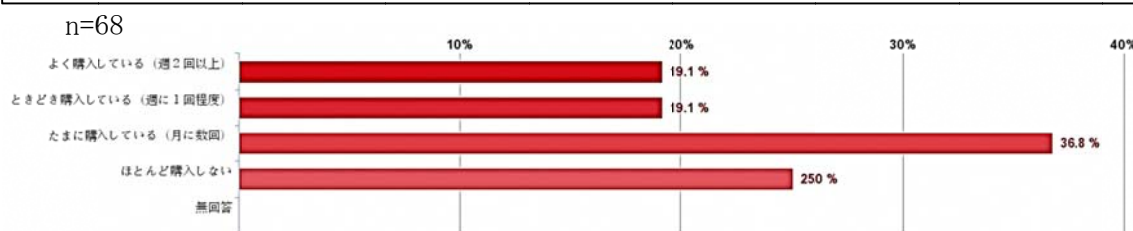
(4) 調査時期

平成29年8月3日（木）～平成29年8月9日（水）

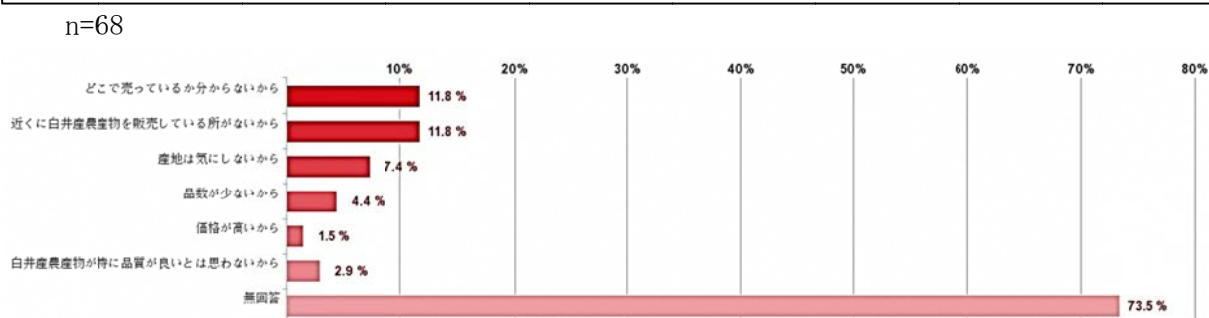
2 アンケート結果

白井市の農業についておたずねします。

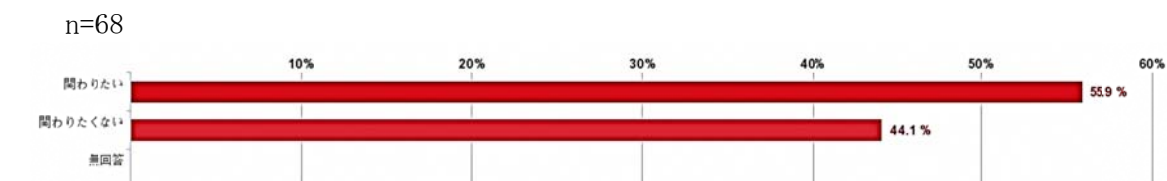
Q1 あなたは、白井産の農産物を積極的に購入していますか。



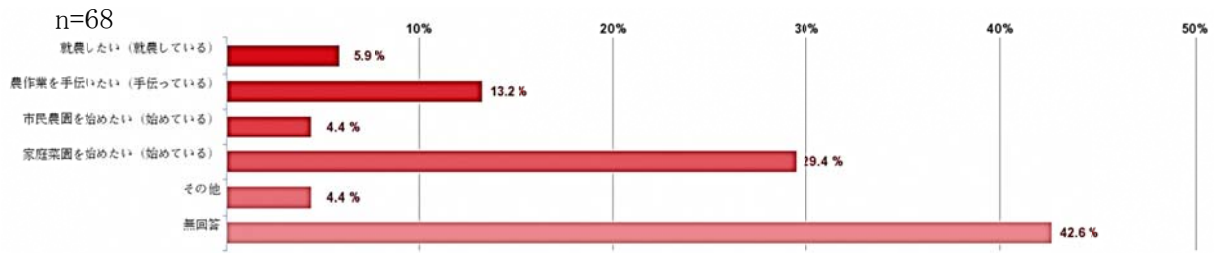
Q2 Q1で「ほとんど購入しない」と回答した人におたずねします。購入しない理由は何ですか。（2つまで）



Q3 あなたは、農業に関わりたいと思いますか。

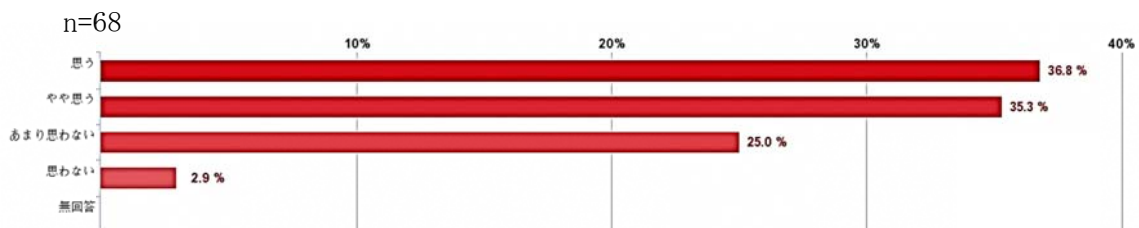


Q4 Q3で「関わりたい」と回答した人におたずねします。あなたは、農業にどのようにかかわってみたいと思いますか。

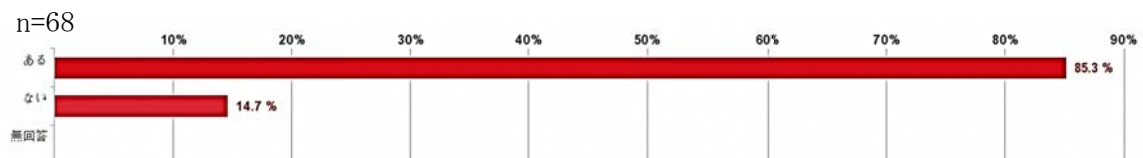


白井市のみどりの環境についておたずねします。

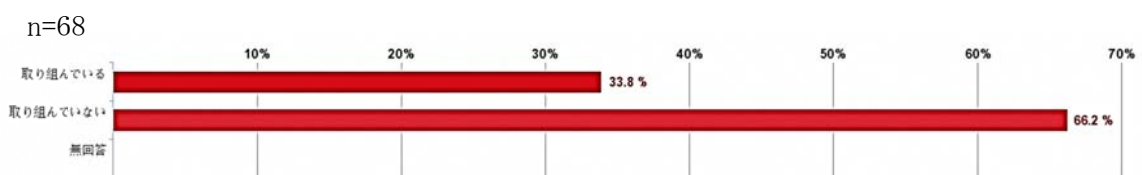
Q5 あなたは、白井市のみどりの環境を自慢に思いますか。



Q6 あなたは、御自宅や沿道など身近な場所に、みどりを感じることができるお気に入りの場所がありますか。

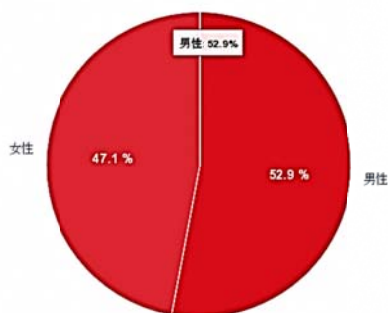


Q7 あなたは、お住まいの地域で環境保全活動に取り組んでいますか。

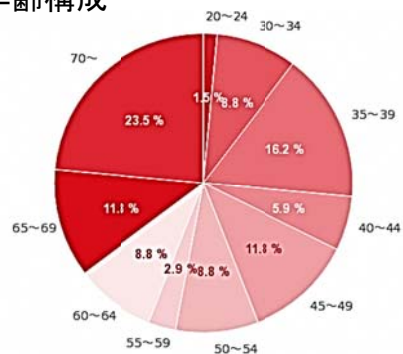


【基本情報】

○性別



○年齢構成



【自由意見】

■農業

後を継がない、跡継ぎがない農家がたくさんあります、そのような田や畑を活用できると良い。
白井の中でも、いわゆる都市農業に携わっています。様々の作業において農外の方には迷惑をかけており、なるべくそれらを軽減するよう努力はしておりますが、どれも必要不可欠なものです。個人でもご理解を得られるよう多種多様な仕方でも情報発信をしておりますが、行政の客観的な立場からも市民の皆さんに「しろいの農業」について細かく発信をして頂けると幸いです。
庭木の毒蛾発生を防ぐための消毒をしている。緑を秋まで保つ。家庭菜園をしたいが害虫の巣になるので農家のために自粛している。
田んぼの中に鉄板の柵を立てて、産廃処理のようなことをしていたり、雑草がぼうぼうに生えている空き地などを放置しすぎである。堤防も歩けないくらい草が生えているし、雑草で危険な歩道もたくさんある。

■みどり

みどり自体は多いが、船橋などと比べると整備がされてない印象。手付かずの自然も体勢を感じるが、綺麗な街づくりには至ってないように思う
公園の草刈りの頻度を上げてほしい。
道路沿線の手入れを
公園などは身近にあるが、里山とかは接する機会がなく、またアクセス/アピールが足りないように感じる。
緑に恵まれている一方足元はゴミだらけ。特に在来地区・幹線道路沿線・駅周辺。ゴミの無い緑あふれる街作りのアイデアが必要。
保全活動と合わせて、広報活動に力を入れてアピールが必要かと思います。なし坊 Twitter だけじゃ、 Facebook などでの情報発信など、初期コストがかからないで情報発信できるものは多くあると思います。
白井市がどのように環境保全活動を行っているのかよくわかりません。ただ、都内から帰宅すると自然のいい匂いがするので、みどり豊かな白井であり続けて欲しいです。
保全の必要な場所の問題提起などあれば良いと思います。
市役所職員が自ら率先して市内のみどりの保全・活用策活動を行なっていけば、付いて来る市民は増えると思います。
街路樹は、樹形など考えずにただ植えてあるだけという感じが強い。一例では、白井駅から市役所に向かう沿道沿いにケアキの植樹がされているが、電線に架かっているために途中で伐採されるなど、樹形を損ねているのが散見されるなど…。都市化に伴うものか、189号線で市役所から総合公園を過ぎた先に開発地域があって斜面の緑が伐採されているが、開発地域にも緑の保全が必要。街路樹の寄付を募って植樹、募金者のネームプレートを取り付け、白井市の緑化運動に繋げるのも一案。里山の保全強化で白井市のイメージアップも…。
自宅の周りに緑はたくさんあっても、竹やぶみみたいのだったり林みたいなことだったりするので、遊歩道とか公園とか緑を身近に感じられる場所を作って欲しい。
緑の保全の為、①緑地、公園の整備、②主要道路の（市道、県道等）雑草の除去、③街路樹の計

画的整備、街路樹下の植え込みの清掃、④空地空家の雑草除去の為の地主への啓蒙の為のアクション等、現実の問題点の改善の推進を願います。

白井市に移住して一番びっくりしたことは、「水」と「緑」の豊富さでした。でも「ほったらかし」の風景に2度びっくり。この緑をどう生かすか？市民の英知をあつめて考えて行ければ素晴らしいだろうな？とおもいます。でも今は和歌山まで週1回ほど通勤してる関係であまり時間がなく。思うばかりで行動が追いつきません。

みどりの保全是とても大切なことだと思います。しかし、散歩の途中に竹藪の近くを通ると「何か出てくるのではないかと」気持ち悪いです。また、北総線沿い小室駅近くの草が道路にはみ出してきて運転しにくいときがあります。場所に応じてですが、例えば住宅地近辺で犯罪の起きやすい所は伐採するとか、光の入る足元の見える森にしてもらえると、今よりも住みやすい白井になるのではないかと思います。

遊歩道が素晴らしいので全市を周回する遊歩道を整備するべき。自転車道もあればもっと素晴らしい。その中に洒落たレストランがあればいい。バラバラで質の悪い企業看板、店の広告看板は規制すべき。国立公園にあるように色（緑、茶色等）に広告看板を統一し、ど派手な色、大きさは規制する。出来れば電柱も茶色に統一し、白井市は整然としてきれいで文化都市と人々に思わせる統一感を作る。もっともその前に形は首都圏から近い田園都市だが、人の心は未だに前近代的との町の印象を変える（大学を誘致、民間文化施設の誘致など）努力も必要だが。

10 数年前に白井に引っ越してきた時、家の外構は生け垣にと言われ、木を植えました。隣接の道は、歩道になっており、皐月が植えられていて、その季節は、とても綺麗で気に入っております。年に何回か町の方で、除草して下さるのですが、それでは足りないの、時間があるときには草取りをしています。堀込地区は並木がありますが、笹塚地区は、ありません。道路脇の植え込みの植栽も枯れてしまったのを、今、ご近所のかたがボランティアで、お花を植えて下さっている方がいます。花材もご自分で、提供して下さっていて、頭の下がる思いです。道路の中央に、コンクリートで分離帯を作って植栽をしていますが、雑草が伸び放題でとても見苦しいです。そういった手入れができないコンクリートの分離帯は、必要ないのではないですか？今、災害が想定される時期、コンクリートの中央分離帯が緊急車両等の交通の妨げになると思います。畑や森も大切ですが、メイン道路の管理も町のイメージアップになるのではないですか？

インクルーシブな活動（体力等に不安がある人でも参加できる配慮）の企画を期待しています。

環境塾など市民が積極的にかかわっていることは素晴らしいと思う。

都会には無い広い空間や多きな空が有るのに、建物を造らないで欲しいですね。ただし、手入れはキチンとして欲しい。最低の年に2回の消毒はやって欲しいです。虫が増える→鳥が増えるという食物連鎖が起きていて、虫の害、鳥の害が爆発的に増えていますよ！また、一般的な公園は個人が誰でも利用出来る場所ですので、団体に使用させる場合は、総合公園等にして欲しいです。

北総線沿線に多くの植樹して、緑の中を通過する電車として、PRするのも一つかと思う。

まだまだ未整備なところが随所に見かける。特に道路工事の遅れが酷い。だから保全、活用の不備が目立つ。

緑の保全是、土地の権利関係がハードルを上げている。土地所有者の理解を得られるのか。・遠くにある緑や花を一時みるから綺麗であって、管理する人の苦勞がわかるのかな？・緑の保全に

対して、市から実費程度の支援があれば、思惑通りに進むのではないかと。・緑を保全したいと思う人は、意見を述べるだけでなく、自ら汗を流し保全活動をする必要がある。

緑は水を調和しているので、水辺が欲しいです。たとえば清水口、野口、池の上調整池等に散歩道を作りなどして、緑も含めて総合的な保全が必要と思われる。現在市民の森を見ても利用者がいないようである、まず整備を。

宅地造成等で緑が減少しているが、白井ならではの緑化保全・整備事業を行ってほしいと思います。例えば、白井幼稚園近くの橋が架け替えられましたがそこを流れる小川(?)にビオトープを整備して親子で川遊びができる「白井に住んでいるからこそできるコト」を体験させてあげたいです。

散歩コースで、十余一公園を通るのだが、水量を減らしている時はどぶ臭い臭いが鼻をつくことがあります。池の中を清掃して朽ちた木やゴミを取り除くと改善されるのではと思います。又、放射能の数値が高い場所なので、小さな子供たちの健康管理は大丈夫なのかんあ〜と懸念することもあります。如何なものでしょうか? 「見えない、匂わないものだけに、特に忘れっぽい日本人」でもあるので、あまり気にしない方が良いでしょうか? 又、我が家の目の前にある社会保険庁の施設は閉鎖になってから木や草が鬱蒼と茂っており、建物も朽ちている状態で何年も経過している。今後の見通しでは白井市には権限がないと市議員が言っていたが、住民としては、不満である。宿泊施設もあるのだから老人施設等に活用できないのでしょうか? 送信前に解答欄のチェックができるシステムにして頂けると良いです。

毎年秋に神々廻の森の奥で開催されるマルシェに行くのですが、ここ数年で森の景色の変化を感じます。 森林を伐採し、広々と並べられた太陽光発電のパネル 産業廃棄物なのか、回収した不要品なのか、森の中にゴミがうずたかく積まれている場所・・・それぞれその土地の持ち主がいて、どのような土地の使われ方がされていようか意見を言う立場にないのですが、緑豊かな風景を損なう様で、悲しい気持ちになります。特に、無闇やたらに森林を切り開いて設置されている太陽光発電のパネルに不安を覚えます。それらは20年も持たないうちに壊れて捨てられます。そのパネルは有害物質を含んでいるのに、安全に処分する方法は未だ世界には存在していません。どんどん設置され、壊れてそのまま不法投棄されて、有害物質が森林や地下水にしみ込んでいったとしたら、誰がその責任をとれるのでしょうか。 ゴミを捨てる場所、太陽光パネルを設置する場所としてではなく、環境を健やかに、豊かに保てる森林や土地の使い方を推奨して欲しいです。